

委員：講師の話は聞き取りやすい。受講生が21人というのは少ない。どのような方が聴いているのかをもう少し勘案すれば今後の番組作りに活きると思う。

事務局：今回の審議に際して初めて受講者数を聞いた。私も少ないと思った。

委員：番組内でミカンの消費量が減ったことに触れていたが、今のミカンは種類が多く、農家の皆さんは大変である。柑橘系の食材が認知症予防に効果があるのであれば日本人はもっとミカンを食べたほうが良い。

委員：受講生の年齢の内訳は？

事務局：聞いていない。おそらく中高年層の方が多いとは思う。

委員長：お菓子の製造の話もだが食べ方も大事。できればお菓子の食べ方の話も入れて欲しかった。

委員：話されていることの想像が付き、内容がよくわかった。受講生が少ないのは勿体無い。

委員：インターネットで聴いている人数はわかるのか。

事務局：番組単位でのアクセス数はわからない。

委員：東京にいたが西宮のスイーツに関してはあまり聞かない。このような番組があるのであれば西宮市と連携して首都圏にもっとPRする企画を考えてはどうか。

委員：神戸から西宮にかけては管理栄養士などを育成している大学がたくさんある。スイーツには注目するので若い学生が聴いても面白いと思う。一方で現在は食育が重要視されているので、このような番組を通じて子供も含めて幅広い年齢層に食育に関する正しい知識を提供できればいいと思う。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で見解を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。次回の審議会は平成31年5月7日午前10時、次々回は7月2日午前10時と決定した。

議長は午前11時25分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ
(URL <http://sakura-fm.co.jp/>) にて掲載。

平成31年3月12日

さくらFM株式会社